



農福連携交付金活用セミナー

ノウ フク

日時 2026年 1月26日（月） 10:00~11:45

対象 農山漁村振興交付金（農福連携型）にご興味のある方や、活用を希望する方全般

開催形式 オンライン（ZOOMウェビナー）＋アーカイブ配信

定員 500名

応募締切 1月23日（金）12時

申込フォーム <https://forms.gle/Gw5DsSqPwG3Mzgd38>

参加
無料

お申込みはこちら



農福連携 とは

農福連携は、障害者、高齢者、生活困窮者等、さまざまな生きづらさを抱えた方々の農林水産業分野での活躍を通じて、自信や生きがいを創出し、社会参画を促す取組です。

【農山漁村振興交付金（農福連携型）とは】

農福連携の一層の推進に向け、**障害者等の農林水産業に関する技術の習得**、農業分野への就業を希望する障害者等に農業体験を提供する**ユニバーサル農園の開設**、**農福連携を地域で広げるための取組**、障害者等が作業に携わる**生産・加工・販売施設の整備**等を支援します。

農福から始まる、誰もが輝ける地域づくり

農山漁村振興交付金（農福連携型）の事業概要 農林水産省農福連携推進室

講演①

講師 **竹内 巧** 氏

合同会社竹内農園 代表

小樽商科大学卒業後、ヤマハ発動機株式会社、社会福祉法人札幌この実会、道央農業振興公社（余湖農園）での勤務・実習を経て、2014年に合同会社竹内農園を設立。「農福連携」を掲げた農業経営を実践している。現在は環境負荷低減にも取り組み、北海道から「みどり認定」を受け、約15種類の野菜を栽培。2018年には天皇皇后両陛下が農園を視察、2021年には第11回コブさっぽろ農業賞ビジネスモデル賞優秀賞を受賞。農山漁村振興交付金を活用し、企業と連携して農作業マニュアルの整備や作業改善を進めるとともに、生活介護事業所と連携した農業実践を行っている。さらに、令和7年度採択の同交付金（整備事業）により、来年度にはビニールハウスを整備し、より多様な人が参画できる農業環境づくりを進めていく予定である。



ホームページ



講演②

講師 **工藤 勉** 氏

株式会社ウィンパートナーズ ほかほかワークス 代表取締役

株式会社ウィンパートナーズ代表取締役。平成26年より農業に取り組み、現在、個人・法人ともに認定農業者。中川区内の複数地域の「地域計画」で担い手と位置付けられ、多世代・多属性のメンバーで農業に取り組む。農山漁村振興交付金を活用し、農業用倉庫を整備するなど、現場の作業環境の充実を図っている。

「みんなで未来をつくろ米プロジェクト」では、都市部で生産したお米のブランディングに成功。令和5年名古屋市食育イノベーション大賞一般の部にて優秀賞を受賞。ノウフク・アワード2025準グランプリ（未来を耕す）に選出。



ホームページ

